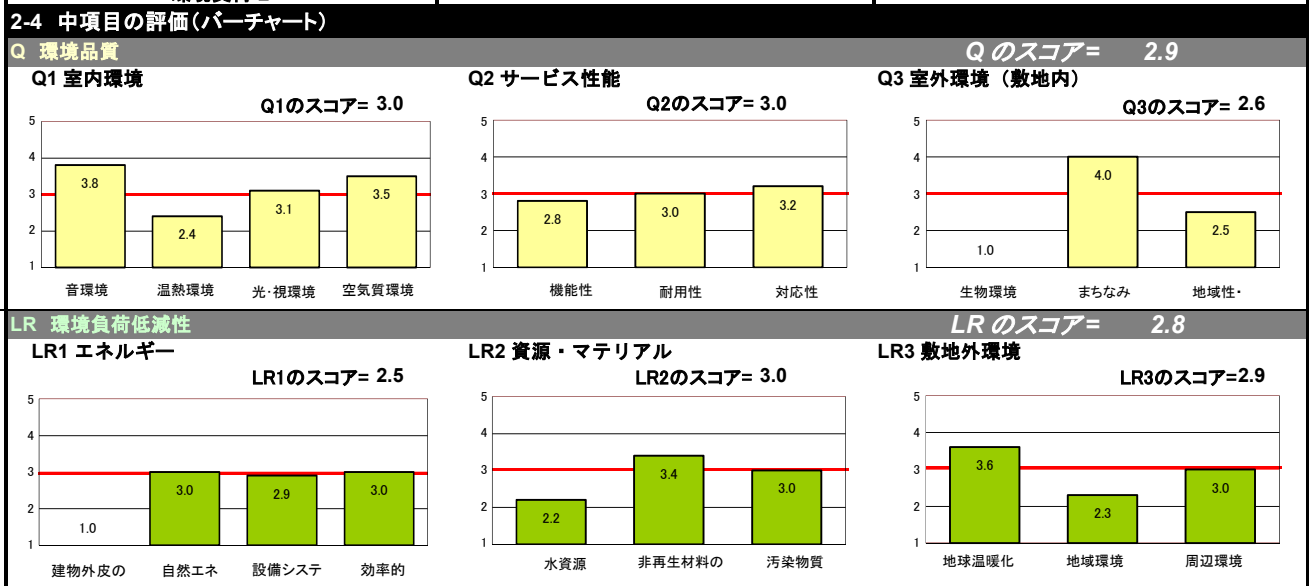
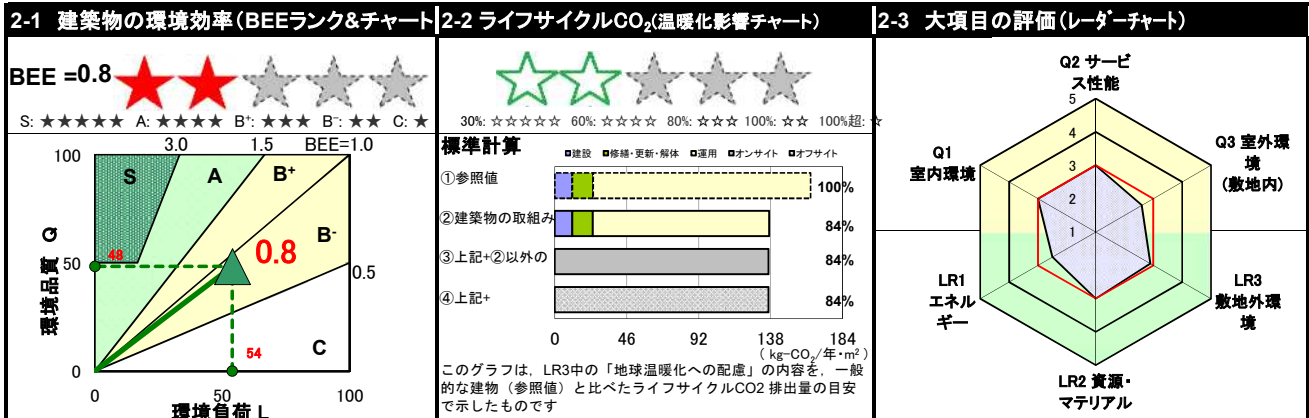


CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都駅南ホテル	階数	地上9F・地下1F
建設地	京都市南区東九条室町55番、他	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	480 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年3月 0.0	評価の実施日	2018年9月11日
敷地面積	913.03 m ²	作成者	大成建設 荒木宏之
建築面積	780.96 m ²	確認日	2018年9月11日
延床面積	6,405.63 m ²	確認者	大成建設 荒木宏之



3 設計上の配慮事項		
総合	京都市南区に新設されるホテルの計画。省エネに配慮しながら利用者の快適性の向上を図った。	
その他	特に無し	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
客室は光環境、空気環境に配慮し、快適な空間となるよう計画した。	更新間隔の長いダクト、配管材料を採用し、建物の耐用性に配慮した。	特に無し
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特に無し	再生利用可能ユニット部材を採用し省資源化に配慮した。	ライフサイクルCO ₂ 排出量削減に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される